

Materials &



Mechanics

Newsletter, Materials and Mechanics Division, JSME, No. 67, December, 2024

特集： 部門企画・イベント報告

先月末、島根県松江市において、The 14th Asia-Pacific Conference on Fracture and Strength (APCFS2024) が開催されました。今年度の部門主催講演会は APCFS2024 に一本化されることから、部門表彰式や、部門の現状を共有する報告会も同会議期間中に行われました。会場の雰囲気等を、部門 HP にアップロードしましたのでご覧ください (<https://www.jsme.or.jp/mmd/>)。APCFS2024 の詳細な開催報告は、次号のニュースレターでお届けする予定です。

本号では、材料力学部門で主催した企画・イベント報告をお送りします。また、来期の案内も含まれていますので、今後も積極的なご参加をお待ちしております。



部門企画講習会開催報告

田中 展（兵庫県立大学・講習会委員会 委員長）

今年度は5件の講習会（部門合同企画1件を含む）を企画しまして、これまでに下記の5件すべてを実施しました。

「機械材料・材料加工のシミュレーション・計測と力学（第4回：材料への治癒・修復機能付与）」

合同企画部門： M&P（幹事部門）、CMD、M&M
開催日： 2024年6月18日（火）13:00-17:30
開催形態： Zoomを利用したオンライン開催
講習会 HP： <https://www.jsme.or.jp/event/24-27/>
受講人数： 28名

「DIC（デジタル画像相関法）の基礎と応用」

開催日： 2024年8月7日（水）10:00-16:40
開催形態： ハイブリッド開催（Zoom・機械学会事務局会議室2）
講習会 HP： <https://www.jsme.or.jp/event/24-71/>
受講人数： 49名

「よくわかる粘弾性力学（設計・生産技術者のための基礎講座）」

開催日： 2024年8月30日（金）10:00-16:30
開催形態： ハイブリッド開催（Zoom・機械学会事務局会議室2）
講習会 HP： <https://www.jsme.or.jp/event/24-72/>
受講人数： 39名

「機械設計のための非線形有限要素法入門（幾何学的非線形，超弾性，粘弾性，弾塑性，接触摩擦，動的解析の基礎を Marc, LS-DYNA の例題で学ぶ）」

開催日： 2024年9月18日（水）10:00-17:00、19日（木）10:00-17:00
開催形態： ハイブリッド開催（Zoom・機械学会事務局会議室2）
講習会 HP： <https://www.jsme.or.jp/event/24-81/>
受講人数： 35名(1日目)、26名(2日目)

「インデンテーションによる材料特性の高効率同定」

開催日： 2024年10月30日（水）13:00-17:00
開催形態： Zoomを利用したオンライン開催
講習会 HP： <https://www.jsme.or.jp/event/24-120/>
受講人数： 27名

「ウィズコロナ・アフターコロナ」の間にオンライン開催やハイブリッド開催の講習会がしっかりと

定着し、最近では各講習会に多くのお申し込みを頂いております。参加者と講師の先生方には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。これまでの講師陣のご協力によりまして、テキストの電子化を促進することができました。また、一部の講習会では、講習会後に数か月程度の見逃し配信を行うなど新しいサービスの提供にも力を入れております。講義内容はもとより上述した取り組みのおかげで、講習会後のアンケートではいずれの講習会も好評を博しております。一方で、印刷不可・書込不可である電子テキストの不便さなど様々ご指摘も受けておりまして、会員の皆様にとってより有意義なものとなるよう継続して講習会のブラッシュアップを図りたいと思います。今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

M&M・CMD 若手シンポジウム 2025 開催案内

(計算力学部門との合同開催、日本機械学会分野連携企画)

高桑 脩 (九州大学・副実行委員長)

これまで20年以上の歴史をもつM&M若手シンポジウムは前回(2023年度)より計算力学部門との合同開催となり、M&M・CMD若手シンポジウムとして再スタートを切りました。前回はコロナ禍が明けて4年ぶりに2023年8月7日~9日の日程で、石川県金沢市のKKRホテル金沢にて開催され、学界・産業界から32名の発表者にご参加いただきました(前回シンポジウムのホームページ：<https://www.jsme.or.jp/conference/mmdcmdconf23-2/>)。

今回は引き続き、計算力学部門との合同開催とし、2025年8月下旬、場所は中京地区の予定です。実行委員長は計算力学部門から飯盛浩司先生(慶応義塾大学)、副実行委員長は材料力学部門から高桑、実行委員は二部門から、上林恵太先生(長岡技術科学大学)、木村康裕先生(九州大学)、後藤圭太先生(名古屋大学)、永島壮先生(名古屋大学)、徳悠葵先生(名古屋大学)、松田直樹先生(福井大学)が務めさせていただきます。また、前回実行委員長の小川雅先生(工学院大学)、実行委員(計算力学部門代表)の竹澤晃弘先生(早稲田大学)にはアドバイザーとして運営をサポートさせていただきます。

本シンポジウムは、部門長や副部門長にも参加いただいております。若手研究者同士の横のつながりを築くだけでなく、中堅、シニアの研究者ともじっくりと意見交換できる大変良い機会となっております。普段の学会とは異なり、合宿形式であることも交流を後押ししてくれます。前回の様子は写真の通りです。産官学を問わず、若手研究者であればどなたでも、ご参加をお待ちしております。開催地および日程は次回ニュースレターにて改めてご案内させていただきます。

本シンポジウムでは、日本機械学会英文ジャーナル(Mechanical Engineering Journal)にて特集号を出版する予定です。また、優れた発表を行った講演者に対してM&M材料力学カンファレンスにて優秀講演表彰を行っております。



図1 近江町での交流会



図2 大会会場での2次会



図3 島村佳伸先生による基調講演



図4 KKR ホテル金沢での懇親会



図5 荒井政大先生によるお言葉



図6 セッションの様子

Newsletter, Materials and Mechanics Division, JSME, No. 67

目次

1. 特集：部門企画・イベント報告

部門企画講習会開催報告

M&M・CMD 若手シンポジウム 2025 開催案内

田中 展 (兵庫県立大学)

高桑 脩 (九州大学)

編集後記

APCFS2024に参加しましたが、個人的には、研究成果の発表と議論だけでなく、新型「やくも」の乗り心地を実際に体験調査することも目的でした。福井駅からは、北陸新幹線、在来線特急、東海道新幹線を乗り継いで岡山駅まで移動して、新型やくもに乗車しました。数年前に乗車したやくもでは、疲れた記憶しかありませんが、制御付き自然振り子式の新型やくもは、カーブの多さもほとんど感じることなく、快適に松江駅に到着しました。また、現地では、山陰新幹線の早期実現を呼びかける看板も目にしましたが、新幹線の基本計画について私が知らないことも多く、これを機会に調べてみようと思いました。電車を含む交通手段の安全安心なものづくりやそのインフラ設備建設のためにも、多くの材料力学が活かされているのだろうと改めて感じました。

ニュースレター第 67 号では、部門企画講習会の報告を執筆していただきました。アフター・ウィズコロナでの講習会や各種企画は、対面とオンラインとのハイブリッド開催が標準的になりつつあると思われれます。企画する側は、対面のみ開催よりも数倍の準備や時間も必要なため、いつも頭が下がる思いで参加しています。部門で企画する講習会や各種イベントを、ものづくりや製品開発、研究活動のための新しい知識や技術を学ぶ機会として活用いただければと思います。

ニュースレターは隔月発行していますが、寄稿を執筆していただける会員を、自薦他薦問わずに随時募集しています。内容や文字数は比較的自由ですので、材料力学に少しでも絡めて研究内容を発信したり、課外活動等を紹介することも大歓迎です。ニュースレターや部門 WEB ページについてのご意見や要望等がございましたら、遠慮なくお気軽にお近くの広報委員、または mmd@jsme.or.jp までお知らせください。

広報委員長 旭吉雅健（福井大学）

一般社団法人日本機械学会 材料力学部門ニュースレター No. 67

発行: 2024 年 12 月 26 日

発行者: 一般社団法人日本機械学会 材料力学部門 東京都新宿区新小川町 4 番 1 号 KDX 飯田橋スクエア 2 階

TEL: 03-5360-3500、FAX: 03-5360-3508、<https://www.jsme.or.jp/mmd/>

ニュースレター発行担当:

広報委員会 旭吉 雅健（委員長）（福井大学）、松本 龍介（副委員長）（京都先端科学大学）

小島 朋久（埼玉大学）、田中 純夫（明治大学）、内藤 圭史（岐阜大学）、脇 裕之（岩手大学）

連絡先: mmd@jsme.or.jp（材料力学部門）